

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 施設内の移動は自由だが、1F玄関は防犯のため電子施錠をしており、要望のある時や不穏な際は見守りや付き添いで対応している。以前の離設事故をふまえて、いまは全入居者をネットワーク登録しており、備えている。原則拘束をしない方針で、毎月話し合い、勉強会の中で些細な行為も見逃さないように意識を高めて取り組んでいる。	地域で行われている徘徊模擬訓練などに参加、協力する事で、離設時において地域ネットワークの協力を得られるようにする。	地域で徘徊模擬訓練がされているため、地域の取り組みに参加や協力をし、地域における認知症高齢者の行方不明等の徘徊対応力を高め、離設事故対策を講じることで、施設外への移動の自由度を高めていく。	12 か月	
2	1	○理念の共有と実践 法人としての全体理念とは別に、ユニットごとの独自理念がある。入居者、職員の状況を見て、半年ごとに職員全員で話し合いを行い、それをユニットのコンセプトとして目標に取り組んでいるが、ユニットにより半年の話し合いの機会のズレがあるので、事業所全体で定期的な振り返りができていない。	職員の入れ替わりがあり、ユニットごとにコンセプトについて話し合う機会が、不定期になっている。人員体制にかかわらず、管理者や計画作成担当者が中心になって、話し合う機会を定期的に作っていく。	職員の入れ替わりがあり、ユニットごとにコンセプトについて話し合う機会が、不定期になっている。人員体制にかかわらず、管理者や計画作成担当者が中心になって、話し合う機会を半年ごとに定期的に行い、コンセプトが入居者へのサービス提供の実態に合っているか確認、見直しを行う	12 か月	
3	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議は地域の参加者も多く、家族も6程度は毎回来られている。提携医や薬剤師の参加もあり、専門的な見地からアドバイスや状況報告を頂き、業務に反映している。しかしながら参加する家族がきまっておらず、なかなか参加できないご家族への働きかけが課題である。	運営推進会議を食事会形式にしたり、行事同日開催を行ったりしながら、運営推進会議に家族が参加しやすい環境づくりを行う。	ホーム年間の定例行事になっている敬老会やクリスマス会と地域運営推進会議を同日開催できるように計画し、参加しやすい環境づくりを行う。	12 か月	
4					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()